

非フッ素系耐久撥水剤
パラジウム ECO-87A
(PARAGIUM ECO-87A)

世界的に環境と安全性の問題が取り上げられている中、従来からのフッ素型撥水加工による安全性に対しても疑問視する動きが出てきています。このような動きに対して、新規開発したのが非フッ素系撥水剤『パラジウムECO-87A』です。

パラジウムECO-87Aは、従来の非フッ素系撥水剤より風合がしなやかでありながら、従来品よりポリエステル・ナイロン繊維等の合成繊維、綿繊維、綿／エステル混紡繊維に対して優れた撥水性能を付与します。また非フッ素系撥水剤で難しかった洗濯後の自然乾燥（風乾）でも優れた撥水性能を維持します。

パラジウムECO-87Aによる撥水加工は、フッ素成分を含みませんので、ハロゲン基因の環境負荷物質（ダイオキシン、オゾン層破壊物質など）の発生が殆どなく、パラジウムECO-87Aによる撥水加工は「環境にやさしい」加工と言えます。



性 状

外観 : 白色乳濁液
主成分 : 高分子樹脂
イオン性 : カチオン
pH : 4.0±1.0

パラヂウム ECO-87A の特徴

- ◇ パラヂウム ECO-87A は非フッ素系撥水剤でありながら、ポリエステル・ナイロン繊維等の合成繊維、綿繊維、綿／ポリエステル混紡繊維に対して、耐久性のある撥水性を付与します。
- ◇ パラヂウム ECO-87A は非フッ素系撥水剤では難しかった洗濯後の自然乾燥（風乾）でも撥水性能を維持します。
- ◇ 非フッ素なので環境負荷が少なくエコロジーです。
- ◇ 希釈安定性及び各種加工剤の相溶安定性に優れています。
- ◇ 冷水でも容易に溶解でき、作業性に優れています。

使用方法

1. [加工処方及び撥水性能 評価]

(%soln.)

パラヂウム ECO-87A		5	5	3	5	
従来非フッ素撥水剤					5	
パラキヤット PGE-2※			0.5	0.3	0.5	
撥水性(級)						
ポリエステル 100%織物	HL-0	5	5	5	5	
	HL-10	風乾	1	4-5	2-3	3
		タンブルドライ	5	5	5	3-4
ナイロン 100%織物	HL-0	4	5	5	4	
	HL-10	風乾	1	3-4	2-3	2-3
		タンブルドライ	3-4	5	5	3
綿 100%ブロード	HL-0	3-4	5	5	5	
	HL-10	風乾	1	3-4	2-3	2-3
		タンブルドライ	2	4-5	3	4

※パラキヤット PGE-2 : ECO-87A 用架橋剤

① 高性能を得るために必ず PGE-2 の併用をお願いします。

② 素材により撥水性能が出にくい場合は、ECO-87A 5%に対し PGE-2 を 0.5% に増量して使用して下さい。

〔 素 材 〕 ①綿 100%ブロード、 ②ナイロン 100%織物、 ③ポリエステル 100%織物

〔 試験方法 〕

撥水性 : JIS L-1092 スプレー法 洗 濯 : JIS L-0217 103 法

〔 加工条件 〕

絞り率: ①76%、②35%、③34%

乾燥: 110°C×2分、熱処理: 170°C×2分

2. 剥離性試験〔コーティング前撥水加工〕

	1	2	3
パラヂウム ECO-87A	5		
従来品		5	
パラキヤット PGE - 2	0.5	1	
他社品			6
剥離性(剥離数/総ブロック数) ナイロンタフタ	0/25	9/25	10/25

Pad(絞り率 55%) → Dry 110°C×2分 → Cure 170°C×2分

剥離性試験

1. 撥水処理布にコーティングを行い、コート面にカッターナイフにて樹脂部分のみに縦横 5 本ずつ切り込みを入れ、計 25 個のブロックを形成する。
2. 切り込み部分(ブロック)にセロテープを加圧して密着させて貼り付ける。
3. 上部より、一気に引き剥がす事を5回繰り返し、コート表面の樹脂部分の剥離した数を確認する。

コーティングレサイブ

パラゾール PNA-295	100
パラキヤット PGE	3
パラゾール V-20	1
合計(重量部)	104

(ナイフ 0.1mm 厚)コーティング → Dry 110°C×2分
→ Cure 160°C×2分

塗布量(wet): 約 90g/m²

< 注意点 >

1. 本品を白布・淡色布に処理すると黄変する可能性があります。十分に予備試験のうえ使用してください。
2. 加工処方・処理される繊維により、風合および染色堅牢度の低下性が若干異なりますので、実際の使用に際し、十分に予備試験のうえ使用してください。
3. 各種併用薬剤との相溶性は、事前にチェックしてください。
4. 保存は 5°C~35°Cで直射日光を避け、冷暗所に保管してください。

ここに記載された資料内容は、細心の注意を払って行った社内試験に基づくものですが、御使用に際しましては十分に御試験の上、御使用下さい。
取扱いに関しましてはMSDSを御参照下さい。